

1—2 モデル事業を踏まえた今後の対応等について

- 本事業では応募者の希望に従いプログラムへの参加が決定しているが、現場での適用にあたっては、どのプログラムが適するかというケアマネジメントが重要である。
- 介護予防については、これからさらに検討していく必要があるが、そのためには、今回のような各サービスにおける効果の検証だけでなく、対象者の把握やサービスの提供の仕方等の全体的な視点での検討が重要である。
- 全国規模で取り組むには、都道府県が介在したほうがより効果的である。
- このモデル事業のみで終わらせらず、ここで培ったノウハウを今後現場で活かしていくことが重要であり、実施担当者においても、現場で主体的に取り組むことが求められる。